

## 産業戦略室

### ● 昨年の経緯

2025年度、JIRAでは「**JIRA画像医療システム産業ビジョン2030**」(2024年度策定)に記載した5つのビジョンを実現するための具体的な活動の検討・策定・実施を進めてきた。この活動は2026年度以降も継続的に実施していく。

産業戦略室は、

- 産業戦略WGを中心に検討する「ビジョン実現のための具体的な活動の検討・推進」のための課題設定・体制整備の支援
- JIRA活動基本計画の策定、産業戦略企画の立案・発信、内外情報の収集・整理・発信、工業会活動の基盤強化・人材育成目的とする環境の提供、戦略遂行に関係する行政機関・利用機関・アカデミア団体等との協議・調整
- 会員企業の事業強化や人材育成に貢献するための情報発信、教材の提供などの定例・継続的活動などを実施してきた。

### ● 産業戦略室の中期（今後3年の）活動方針

#### ● 「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」実現のための活動

2024年に策定した「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」に記載の5つのビジョン(以下記載)実現に向けた具体的施策の検討・推進と、関連する部会・委員会・WGなどとの協働による体制整備を実施する。

- (1) JIRA産業の振興と関連領域との連携強化
- (2) 「データが変える医療」の実現に向けた環境整備
- (3) 医療機器に即した法規制、保険制度の実現
- (4) グローバル市場での競争力の強化
- (5) 持続可能な医療を提供する産業構築

医療機器産業を取り巻く昨今の市場状況や製品関連技術の動向などを踏まえて、以下の2点についても取り組んでいく。

#### ● 先進技術を実装した製品開発・上市の迅速化に貢献する環境の整備

新規技術を迅速に医療機器に実装・上市・医療現場で活用するための軸足である「データ利活用環境の整備」「認可審査の迅速化」「予見性の向上」などの課題を解決するための施策検討・展開を進める。

#### ● 医療機関の経営状況に起因する医療機器導入・更新サイクル遅延に対する取り組み

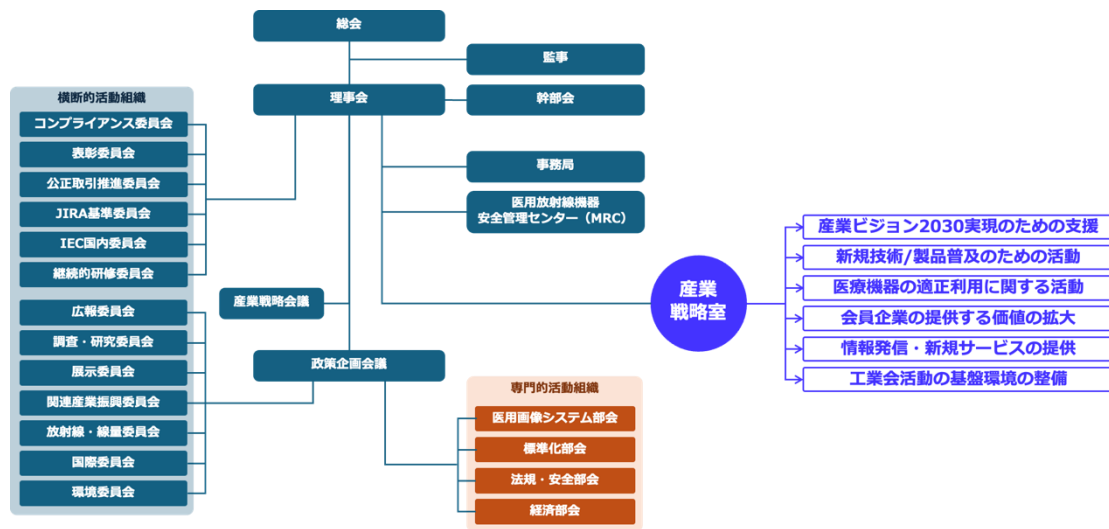
医療機関の経営状況の悪化に起因した医療機器の新規導入や更新サイクルの遅延を改善・解決するための産業界としての施策の検討、関連団体への働きかけ、関連部会・委員会との協働や新しい検討の枠組み構築を図る。

### ● 2026年度の活動計画

前ページの「産業戦略室の中期(今後3年の)活動方針」のもと、2026年度の活動計画を記載する。活動に関する基本的な考え方は以下の3点とする。

- 産業ビジョン2030に掲示する5つのビジョン実現のための具体的活動を通じて、画像医療システム産業の更なる展開に向けた企画の立案と遂行を実施する。
- 従来からの継続・定例的な活動について、その内容と運用方法を時流に沿ってリニューアルし、新しい価値・情報を継続的に発信する。
- 事業範囲の拡大を通じて関連団体との連携を拡張するとともに、対外的な情報発信や政策提言を実施し、会員企業への貢献と工業会の存在価値の向上に繋げる。

以下のJIRA内会議体・関係する部会・委員会・WGへの支援/協働のもとに2026年度の課題を推進する。



JIRA 内会議体と産業戦略室の関係、産業戦略室が注力する業務

## 1. 「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」の実現に向けた施策展開・フォロー

- 「JIRA画像医療システム産業ビジョン2030」の実現に向け、産業戦略WGと協働にて解決すべき具体的課題の検討・策定と決定した活動の進捗をフォローする。

## 2. 先進技術を実装した製品開発・上市の迅速化に貢献する環境の整備

- 先進技術の社会実装に関わる課題(診療報酬、規制緩和、データ利活用環境、予見性)や上市の迅速化(承認審査)などに関わる課題解決のための施策検討・実施、関連グループ/外部団体との協働などを推進する。

## 3. 適正タイミングで医療機器が更新される環境の整備

- 医療機器を耐用年数以内の適正なタイミングで更新できる環境を整備し、国民に質の高い医療を提供するとともに、医療機関のサイバーセキュリティの維持を実現するための施策を検討・推進する。

## 4. JIRA産業戦略の企画・立案・発信

### (1) 政策企画会議の主催・運営によるJIRA産業戦略の実行状況把握と推進強化

- 会議の場を通して、部会・委員会などのグループが関連する領域を取り巻く状況の共有、グループ活動の内容、存在する課題、注力すべきポイントの確認などを実施する。

## (2) 産業戦略会議の主催・運営によるJIRA産業戦略に関する課題把握・協議と推進強化

- 会議の場を通して、JIRA全体として検討・協議すべき課題の抽出、部会・委員会などのグループが関連する領域を取り巻く状況の共有を実施し、政策企画会議に向けた審議事項の準備、検討を行う。

## (3) 事業計画の立案・取りまとめの推進

- JIRAとしての事業計画の検討・立案を実施する。加えて、この事業計画に基づく各部会・委員会の事業計画の立案推進と全体取りまとめを実施する。

## 5. 会員企業へ提供する価値の拡大

## (1) 研究会・勉強会などを通じた画像医療システム産業の現状把握、今後の方向性探索、連携拡大

- 医療分野における最新動向や医療機器産業の今後の方向性に関する情報の収集・把握、会員企業メンバーを主な対象とする啓発活動の推進を目的として、「2026年度画像医療システム産業研究会」を企画・開催する。
- より多くの参加者の獲得を狙って、参加者の利便性を向上させるためにITインフラ/DXツールを有効活用し、研究会/勉強会の開催告知・開催条件・開催方法(オンラインでの当日および見逃し配信)などの施策を実施する。

## (2) 医療従事者・アカデミアとJIRA会員企業の連携強化を狙った「場」の提供

- 医療従事者・アカデミアメンバーと会員企業との情報交換・連携機会の創出・拡大を狙った「JIRAカンファレンス・スパーク」の活動強化、医工連携などの提供価値の増加を推進する。

## (3) 会員企業における人材育成を支援するコンテンツの提供

- 会員企業における人材育成・教育の支援を目的として「JIRA教育用セミナーVOD」を提供、既存利用者の要望を収集しつつ、既存コンテンツの改良、より医療現場のニーズを把握するための新規コンテンツの追加などの施策を継続的に実施する。

## 6. 工業会活動を支える基盤の強化・更新

## (1) JIRAにおける部会・委員会・WG活動を支援する業務用IT/DXインフラの継続的な整備・更新

## (2) JIRAから会員企業、関連団体/企業、医療従事者/アカデミア、行政関係者などへの情報発信や

意見収集の窓口となるJIRAホームページについて、JIRA60周年である2027年度に向けて機能/デザインなどの刷新を検討

## (3) 法規制や規格/標準化活動のエキスパートの育成

## 7. 産業戦略に関する行政機関、関係機関等との交渉・調整、情報収集、配信

## (1) 内閣府、厚生労働省、経済産業省、その他の省庁との対話・会合等への提言の作成/支援

- AI(人工知能)の社会実装拡大と将来の活用形態を見据えた法律・環境整備への提言

## (2) 外部団体と連携した提言活動強化

- 医機連、JRC3学会(JRS、JSRT、JSMP)、JART、医療機器センター、JCR、AMED、MEJ、日本メディカルAI学会等の関連団体/アカデミアとの連携

- 増加するSaMD関連団体の実態把握、連携強化
- 肺がん早期発見への貢献活動(日本肺癌学会、日本CT検診学会等)

(3) 産業戦略に関する情報収集と会員企業への配信

- 関係省庁、医機連からの情報収集と会員企業への配信
- 産業戦略に関する内外の情報収集・調査と発信支援